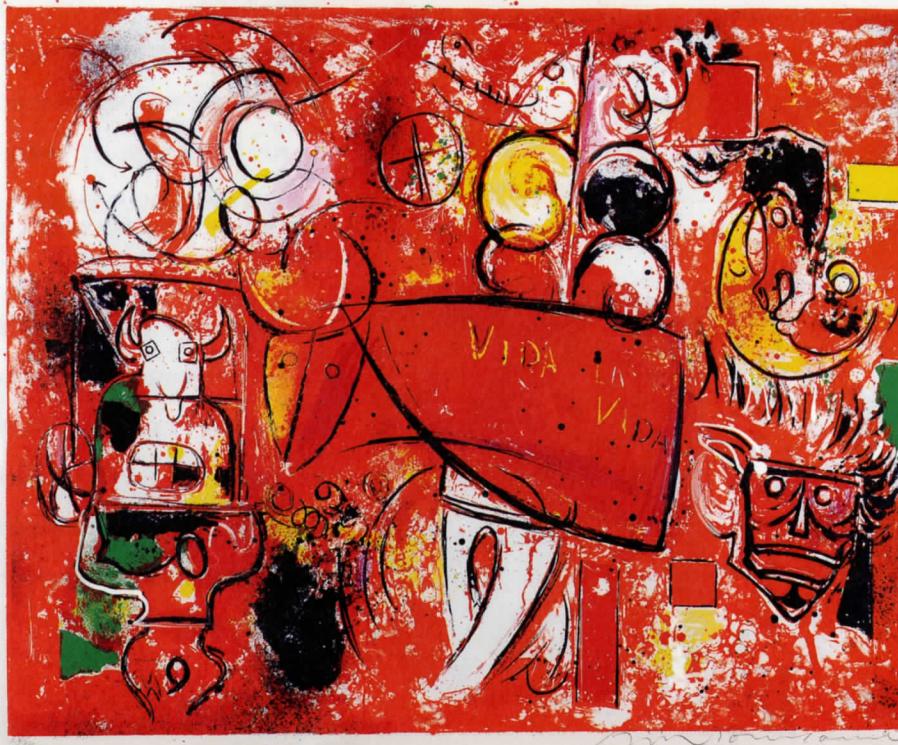


Toneyama Kojin Retrospective



《フィエスタ》 1978年 スクリーンプリント 個人蔵

シリーズ(現代の作家)

利根山光人展 —バイタリティーを求めて—

2013年6月22日(土)ー8月4日(日) 月曜休館 但し7月15日(祝)は開館、翌16日(火)休館

[平日] 10:00ー17:00(入場は16:30まで) [土・日・祝] 10:00ー17:30(入場は17:00まで)

観覧料=一般600(500)円／大学・高校生と65才以上300(200)円／中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金

※展覧会初日6/22(土)は入場無料 ※身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

版画でひろがる
アートの町田 町田市立国際版画美術館



《ヒロシマシリーズ》 A.M. 8.15 1989年 銅版画 町田市立国際版画美術館蔵

反骨の
画家

利根山光人(とねやま こうじん、1921-1994)は、バイタリティーを求めて佐久間ダム建設現場や炭鉱、メキシコの古代遺跡、インドの石窟、ヨーロッパの洞窟、日本の古墳などを訪れ、現地で体感した人間の原初的生命力を版画や油彩画、壁画にダイナミックに表現し続けた画家でした。また、古代文明や小説「ドン・キホーテ」に現代社会の危機を見出し、それを痛烈な表現によって示唆した反骨精神に満ちた画家でした。

展覧会ではメキシコの古代文明に衝撃を受けて制作した作品をはじめ、初期から晩年までの版画などを全12コーナーに分けて約130点展示し、作品の内容とその変化を振り返るとともに、作品を通して画家が伝えようとした現代へのメッセージについて考えてみます。

【展示構成】

- I. 前衛へ—1950年代
 - II. メキシコ体験以後—1960年代
 - III. プリミティヴな造形—木版画
 - IV. 悪魔払い—メキシコ民族誌への興味
 - V. 日本の伝統行事・祭り
 - VI. ピバ・メヒコ(メキシコ万歳)
 - VII. メキシコ古代文明と日本の装飾古墳
 - VIII.「馬」
 - IX. インド女神
 - X. 闘牛
 - XI. ドン・キホーテ
 - XII. 戦争の爪痕

利根山光人展 バイタリティーを求めて



《鷺》 1960年 リトグラフ



《夜》 1956年 リトグラフ



《古代の鳥》 1971年 木版



《Viva Mexico》 1980年 木版



《オルメカの謎》 1977年 リトグラフ



《釜石虎舞》 1979年 リトグラフ



《蜃氣樓A》 1986年 リトグラフ

*掲載作品はすべて町田市立国際版画美術館蔵

【関連催事・イベント】

- ①プロムナード・コンサート
演奏者:山口友由実(やまぐち ゆうみ)氏
(ピアノ)
日時:7月15日(月・祝)
場所:美術館エントランスホール
1回目:13:00~
2回目:15:00~ 各回30分程度
※どなたでもお聴きになります。
お座席の用意はありません。

②館長によるスペシャル・ギャラリートーク:6月30日(日)
③学芸員ギャラリー・トーク:6月23日、7月14日・28日、8月4日
各日曜日 *いすれも14:00から45分程度
④利根山光人展 記念スタンプ・コーナー エントランスホール
★美術館で語りあおうトークフリーデー 会期中の水曜・土曜

同時開催:常設展示
ヴァンダーリッヒの版画—メタモルフォーズと幻想



町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel.042-726-2771/0860
<http://hanga-museum.jp/> 小田急線・JR横浜線町田駅から徒歩15分

